

## <6> FOLFIRI 療法

<対象疾患> 切除不能 進行、再発大腸癌

<治療レジメン詳細> day 15 = day 1

	薬剤名	投与量	投与方法 (点滴時間)	投与スケジュール(日) 1.....14
①	生理食塩液 グラニセトロン注 1mg デキサメタゾン注 6.6mg	100ml 1 A 1V	点滴静注 30分	↑
②	5%ブドウ糖液 レボホリナート(I-LV)	250ml 200mg/m <sup>2</sup>	点滴静注 120分 ③と同時に	↑
③	5%ブドウ糖液 イリノテカン(CPT-11)	250ml 150mg/m <sup>2</sup>	点滴静注 120分 ②と同時に	↑
④	生理食塩液 フルオロウラシル(5-FU)	50ml 400mg/m <sup>2</sup>	②終了後 全開で滴下	↑
⑤	フルオロウラシル(5-FU) 生理食塩液 (投与量は備考参照) (インフュージョンポンプ使用)	2400mg/m <sup>2</sup>	持続注入 46時間 リザーバー使用	↑
⑥	デキサメタゾン錠 4mg	1日2錠(8mg)	内服	↑↑ (day2-3)

<投与期間> 2週間(14日)を1クールとして繰り返す。

<所要時間> 約48時間(day1 は約3時間)

<備考>

● インフュージョンポンプと生理食塩液の量について

①バクスターインフューザー LV5(バクスター社製)

→ 生理食塩液は5-FUの投与量とあわせて、総量230mLになるよう調整する。

②ニプロシアフューザーA SFS-1036HRP(ニプロ社製)

→ 5-FUの投与量によって生理食塩液の適正量が変わるため、別表参照。

本体の保管温度、投与ラインのゆがみ等の条件で、投与スピードが変化する可能性あり。